



T コマンド

この章では、T で始まる Cisco NX-OS 仮想ルータ冗長プロトコル (VRRP) コマンドについて説明します。

track (VRRP)

追跡対象オブジェクトに基づいて仮想ルータのプライオリティを変更するには、**track** コマンドを使用します。仮想ルータのためのプライオリティ トラッキングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

track *object-number* [**decrement** *value*]

no track *object-number* [**decrement** *value*]

構文の説明

<i>object-number</i>	設定済みの追跡対象オブジェクトの番号。指定できる範囲は 1 ~ 500 です。
decrement <i>value</i>	(任意) 追跡対象オブジェクトがダウンした場合に、VRRP プライオリティをデクリメントします。範囲は 1 ~ 254 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

VRRP コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

track (VRRP) コマンドは、設定された追跡対象オブジェクトのステートに基づいて仮想ルータのプライオリティを変更するために使用します。追跡対象オブジェクトを設定するには、**track** コマンドを使用します。追跡対象オブジェクトがダウンすると、そのプライオリティが仮想ルータのプライオリティ値に戻ります。追跡対象オブジェクトがアップすると、仮想ルータのプライオリティが元の値に戻ります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、仮想ルータのオブジェクト トラッキングをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# track 33 ip route 192.0.2.0/24 reachability
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# vrrp 250
switch(config-if-vrrp)# track 33 priority 2
switch(config-if-vrrp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature vrrp	VRRP をイネーブルにします。
show vrrp	VRRP 設定情報を表示します。

コマンド	説明
track interfave (VRRP)	インターフェイスのステートを追跡して、インターフェイス ステートがダウンした場合に VRRP プライオリティを変更します。
vrrp	VRRP グループを設定します。

track interface (VRRP)

インターフェイスに基づいて仮想ルータのプライオリティを追跡するには、**track interface** コマンドを使用します。仮想ルータのためのプライオリティ トラッキングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

track interface {*ethernet slot/port* | **port-channel number**[*.sub_if_number*]} **priority value**

no track interface {*ethernet slot/port* | **port-channel number**[*.sub_if_number*]} **priority value**

構文の説明

ethernet slot/port	プライオリティ追跡対象の仮想ルータ インターフェイスを指定します。スロット番号は 1 ～ 255、ポート番号は 1 ～ 128 です。
port-channel number	プライオリティ追跡対象のポート チャネル グループを指定します。範囲は 1 ～ 4096 です。
sub_if-number	(任意) サブインターフェイス番号。有効な範囲は 1 ～ 4093 です。
priority value	仮想ルータのインターフェイス プライオリティを指定します。値の範囲は 1 ～ 254 です。このルータが IP アドレスのオーナーである場合、この値は自動的に 254 に設定されます。

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

VRRP コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

track コマンドは、仮想ルータのプライオリティをスイッチ内の別のインターフェイスのステートに基づいて変更するために使用します。追跡対象インターフェイスがダウンすると、プライオリティは仮想ルータのプライオリティ値に戻ります。追跡対象インターフェイスがアップすると、仮想ルータのプライオリティはインターフェイス ステートを追跡する値に戻ります。



(注)

インターフェイス上でプリエンブションをイネーブルにしなければ、インターフェイス ステート トラッキングを起動できません。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、仮想ルータのインターフェイス ステート トラッキングをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# vrrp 250
switch(config-if-vrrp)# track interface ethernet 2/2 priority 2
switch(config-if-vrrp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature vrrp	VRRP をイネーブルにします。
show vrrp	VRRP 設定情報を表示します。
track (VRRP)	オブジェクトを追跡して VRRP プライオリティを変更します。
vrrp	VRRP グループを設定します。

■ track interface (VRRP)